

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2026-03-01

No. 183



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: CISPR TR 30-3-LED 光源用組込型 ECG のエミッション試験方法	3



IEC: 新規格リスト	4
ISO: 新規格リスト	8
国際テーマ: UNECE: 公道への自動運転車の安全な導入のためのグローバル規則を発表	10
国際テーマ: 消費者向け IoT 製品のサイバーセキュリティ試験	11
国際テーマ: 2026 年における AI の展望	12
国際テーマ: カザフスタンの認証機関と Nemko の新たな合意	13
国際テーマ: ブルンジにおける通信機器の市販許可のためのデジタルプラットフォーム	14



USA: FCC: より高速・高性能な Wi-Fi 及び次世代接続を実現するための措置を採択	15
USA: FCC: 一部ドローンを制限対象から除外するため対象リストを更新、FAQ を公開	16
USA: FCC: KDB: FCC Part 96 (CBRS) 能動及び受動 DAS の機器認可に関する指針	17
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	18
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	18
USA: IEEE: 新規格リスト	20
カナダ: RABC: 無線標準仕様 RSS-288 第 2 版 -世界海上遭難安全システム(GMDSS) ...	21



EU: 医療機器に関するより簡素で効果的な規則についての Q&A	23
UK: 英国機械規則、防爆機器規則などの指定規格情報	25
EU: CENELEC: 新規格リスト	26
EU: ETSI: 新規格リスト	28
ニュージーランド: WorkSafe: 電気設備に関する電気安全規則の改正	29
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト	30



中国: SAMR: 強制製品認証目録に含まれる一部製品の認証方式の調整に関する公告	32
中国: CNCA: 充電式モバイルバッテリー等の CCC マークの試行的改革事項に関する公告	33
中国: CQC: バッテリー及びバッテリーシステム用保護ヒューズの任意認証業務開始の通知 ..	34
中国: 新規格リスト	35
台湾: BSMI: 二次リチウム電池ブロック等商品の関連検査規定を制定、施行	39
台湾: 新規格リスト	41
韓国: RRA: 2025 年放送通信分野国家標準 (KS) 告示について (制改廃、確認)	42
韓国: RRA: 「電磁波適合性基準」一部改正に関する通知	43
韓国: KATS: 電気用品安全基準 1 件の改正告示	44
韓国: KS 新規格リスト	45

総務省: 電波利用環境委員会報告 (CISPR 会議の審議結果について) 概要の報告(3/3) ...	48
経済産業省: JISC、欧州電気標準化委員会との協力に合意	50
経済産業省: 日本産業規格の制定・改正(2026 年 2 月分)	51

国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14
ちょっといっぷく~小クイズコーナー ベトナムの強制品目への追加について	21
コスモス・コーポレーションからのご案内: 塩水噴霧試験のご案内	22
(株)コスモス・コーポレーション セミナー (zoom) のご案内	38
社長の独り言	53

IEC: 規格解説: CISPR TR 30-3—電磁エミッションに関する試験方法—LED 光源用電子制御装置—組込型制御装置

LED 光源用組込型電子制御装置 (ECG) の電磁エミッションに関する試験方法について述べた技術報告書 (TR)、CISPR TR 30-3 第 1 版が発行された。照明器具内に使用される LED 光源用 (ECG) の無線妨害特性を評価するための、基準照明器具の構造及びパラメータ、測定手順並びに評価条件について詳しく述べられている。本来、CISPR 15 が適用される照明器具への組み込みを意図された部品やモジュールには CISPR 15 は適用されないが、同一の電子制御装置が複数の照明器具に組み込まれることから、個別に試験することによる試験の増加を回避するなどの理由から、試験用基準照明器具についての規定を定めるべく CISPR TR30 シリーズが作成された。

国際テーマ: UNECE: 公道への自動運転車の安全な導入のためのグローバル規則を発表

自動運転は 2020 年までの公道導入が予想されていたが、実際の課題は想定よりも複雑であることなどから実現は遅れた。こうした中、UNECE の自動運転・コネクテッド車両作業部会 (GRVA) は、2026 年 1 月会合で、自動運転システム (ADS) に関するグローバル規則案を採択した。本案はドライバー監視なしの自律走行車展開を可能にする統一安全要件を定めるもので、安全マネジメントシステム (SMS)、試験の信頼性確保、セーフティケース、運用中監視報告 (ISMR)、データ保存 (DSSAD) を柱とする。今後、2026 年 6 月の WP.29 で採択が検討される。

EU: 医療機器に関するより簡素で効果的な規則についての Q&A

欧州委員会は、医療機器規制に関して安全水準を維持しながらの重点的な簡素化を提案した。現行制度では手続の複雑化や規則運用のばらつき、高コストが競争力やイノベーションを阻害しているため、報告義務の効率化、低～中リスク機器の評価の予測可能性向上、電子化推進、国際協力強化などを進める。さらに認証期限の明確化や成熟技術の負担軽減により供給の安定と研究開発を支援する。

総務省: 電波利用環境委員会報告 (CISPR 会議の審議結果について) 概要の報告(3/3)

情報通信審議会 情報通信技術分科会 (第 191 回) が開催され、配付資料・議事概要・議事録が公開された。その内、「資料 191-2-1 電波利用環境委員会報告 概要～CISPR 会議の審議結果について～令和 7 年 11 月 14 日 電波利用環境委員会」資料の内容を抜粋して掲載する。

この資料は総務省及び関係各位の尽力により、非常にわかりやすく、国民にとって有益なものとなっている。CISPR 会議は、令和 7 年 9 月 15 日から 9 月 19 日までの間、インド・ニューデリーにおいて開催 (各小委員会によって日程または会議形式が異なる。D 小委員会は今年是非開催) 今回は F、H、I の小委員会の「主な審議状況及び審議結果」を掲載。

経済産業省: JISC、欧州電気標準化委員会との協力に合意

経済産業省が事務局を務める日本産業標準調査会は、欧州電気標準化委員会 (CENELEC) の友好標準化団体 (CSB) となることに合意した。これにより、CENELEC 配下の全ての専門委員会 (TC) 及び CENELEC と欧州標準化委員会 (CEN) との合同専門委員会 (JTC) に簡便な手続でオブザーバーとしての参加が可能となる。

EU: 医療機器に関するより簡素で効果的な規則についての Q&A



Summary

欧州委員会は、医療機器規制に関して安全水準を維持しながらの重点的な簡素化を提案した。現行制度では手続の複雑化や規則運用のばらつき、高コストが競争力やイノベーションを阻害しているため、報告義務の効率化、低～中リスク機器の評価の予測可能性向上、電子化推進、国際協力強化などを進める。さらに認証期限の明確化や成熟技術の負担軽減により供給の安定と研究開発を支援する。

欧州委員会が医療機器規則の重点的な簡素化を提案する理由

医療機器及び体外診断用医療機器は、絆創膏やインフルエンザ・妊娠検査薬から、高度な画像診断装置、股関節置換用インプラント、脳インプラント、ペースメーカー、診断ソフトウェアに至るまで幅広い。これらは疾病の診断・予防・治療のための医療技術や医療手段を提供し、人命救助に重要な役割を果たしている。EU の医療機器産業には 3 万 8,000 社以上（その約 90% が中小企業）が存在し、93 万人以上を雇用するなど、欧州における主要産業であり、世界的にもリーダー的地位にある。

医療機器規則（MDR）及び体外診断用医療機器規則（IVDR）は、EU 域内における [医療機器](#)・[体外診断用医療機器](#) の開発、製造、販売・流通を規定する一連の規則である。これらは、公衆衛生と患者の安全をより確実に保護するため、EU の法的枠組みを更新し、より強固なものとするを目的としている。しかし、この法令を評価した結果、競争力、イノベーション及び患者ケアに悪影響を及ぼす課題が明らかになった。例えば、調整の仕組みが非効率的であることや、公認機関（Notified Body）や管轄当局による規則の運用のばらつき、一部の手続が過度に複雑で費用がかかるものとなっていることである。

今回提案された重点的改正は、世界最高水準の安全基準を維持しつつ、医療機器及び体外診断用医療機器に関する規則を簡素化し、より分かりやすく、迅速かつ効果的な制度とすることを目的としている。また、この改正により、域内市場及び国際的における競争力が高まり、イノベーションが促進される。

簡素化の主な目的と、現行規則からの変更点

今回の改善の主な内容には次が含まれる。

- 報告義務の効率化、規則の簡素化、手続の合理化により、特に中小企業を含むすべての関係者の **行政負担を軽減**し、規制主体間の連携を強化。
- 特に低～中リスク機器や、小児用・希少疾患向け機器などの対象患者数が限られる機器について、適合性評価手続をより予測可能にすることで、より **対象が絞れ、均衡の取れた要求事項**とする。
-
- 電子取扱説明書の提供範囲拡大、情報の電子的ラベリングの許容、ツールと適合性評価手続の電子化など、電子化を推進。
-
- 欧州委員会に、信頼できるパートナーとの高い水準の国際協力及び情報共有メカニズムへの EU の参加を決定する権限の付与、国際ガイドラインの採用の強化による、国際協力の強化。

また、改善の一環として、欧州委員会は、医療機器の認証プロセスの予測可能性と効率性を向上させるための一連の措置を直ちに開始した。欧州委員会は 3 つの法的措置を通じて、以下のことを提案している。

- 適合性評価活動の最長の完了期限を設定し、認証機関のプロセスを最適化し、医療機器の安全かつ継続的な供給を確保。
- 画期的な医療技術とその適時の認証及び入手可能性を支援。
- 長年使用され、十分に理解された成熟技術に基づく機器に対し **不要な規制負担を削減**。



試験設備のご案内(塩水噴霧試験)

◎ 複合環境塩水噴霧試験機

材料の耐腐食性を確認・検証される際は、是非ご連絡ください。

<試験装置>



専用の設置台により大型の重量物にも対応可能です。

仕様

温度設定範囲	塩水噴霧試験: 35°C~50°C 乾燥試験: (室温+10°C)~70°C 湿潤試験: 40°C~60°C(湿度: 50~95%)
試験溶液	中性塩水(pH6.5~7.2)
対応可能規格	ISO9227, JIS Z 2371, IEC60068-2-52 等
テストエリア寸法	W1080mm × H360mm × D650mm (試験可能サイズに関しては、お問い合わせください。)

弊社では他にも、国内外の安全規格 などの粉塵試験、水の浸入に対する保護の試験 等様々な試験を行っています。

安全試験・環境試験・信頼性試験をご検討の際は、是非下記の弊社窓口へご相談ください。

松阪事業所：〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町718-1
 URL： www.safetyweb.co.jp E-mail： sales@cosmos-corp.com
 【お問い合わせはCS部まで -- TEL: 0598-30-5225(直通), FAX: 0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレーション

2026年1月21日

濱口 慶一

製品寿命と技術者倫理について考える

春の気配を感じる日が少しずつ増えてまいりました。

寒暖差のある日が続いておりますが、皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。季節の移ろいを感じるこの時期は、ものづくりに携わる私たちにとっても、立ち止まって原点を見つめ直す良い機会だと感じています。

コスモス・コーポレーションでは、**製品寿命を考慮した製品安全設計**を、指導の基本方針として掲げています。その理由は極めて明確です。製品は「規格に適合した瞬間」ではなく、「市場で使用され続ける全期間」にわたって安全でなければならないからです。規格は最低限の共通言語であり、安全そのものを保証するものではありません。製品が長く使われるほど、部品の劣化、使用環境の変化、想定外の使われ方など、リスクは確実に増えていきます。だからこそ、設計段階から製品寿命を見据えた安全設計が不可欠なのです。

規格や規定に明記されていない事柄に直面したとき、私たちは何を拠り所に判断すべきでしょうか。

その答えは、**技術者倫理**に基づく判断以外にありません。コスモスは、常に次の立ち位置で顧客に向き合っています。

第一に、**国民のより安心・安全への配慮**です。

評価・認証業務の最終的な受益者は、製品を使用する一般の人々です。この視点を見失った瞬間に、技術は独りよがりになります。

第二に、**安全検出型の思想に基づき、フェールセーフを追求すること**です。

「壊れない」ことを前提にするのではなく、「壊れたときに危険側に転ばない」設計をどこまで実現できるかが、真の安全設計だと考えています。

第三に、**製品寿命の目標値を明確にすること**です。

民生機器は8～10年、産業機械は最長30年。この期間、安全に使われ続けることを前提に企業を指導していく姿勢を、私たちは貫きます。

第四に、**設計・開発段階ではIEC規格を基準としつつ、製品が市場に出た後は、製造物責任法に基づく責任が問われる段階へ移行する**という認識を持つことです。

出荷後に発生する不具合や事故に対し、顧客の損失を可能な限り小さくする努力こそが、信頼ある企業活動につながります。

第五に、**DX化を推進し、最長納期25日を企業努力目標とする**ことです。

スピードは品質を犠牲にするものではなく、知恵と仕組みによって両立できる時代に入っています。

第六に、**評価・認証業務で得た利益は、人に投資すること**です。

社員教育、測定機器の充実、そして給与への適切な配分。これが、長く社会に貢献し続ける組織の基盤だと信じています。

最後に、少し肩の力を抜いて、私の趣味の話を。

庭で飼っている日本蜜蜂は、温かい日にはとても活発です。水場で羽を休め、花の香りをまとって巣に戻る姿を見ると、自然の営みの確かさに心が和みます。

人の手を入れすぎず、しかし見守り続ける。その距離感は、ものづくりと安全にも通じるものがあるように感じています。

これからも、季節の変化とともに、原点を忘れず歩んでいきたいと思っております。

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ(EMC, Safety and Energy Conservation)**分野に係わる、世界の主要機関・地域において実施され、かつ電気電子製品に適合が求められている規格/法規制に関連する情報をお届けします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えていただけることが本誌の目標です。情報源を明示しますので、読者の皆様の関心の大きさに応じてさらに深掘りしていただくことができます。

本誌の内容は、各国の規制・規格の対象製品の試験、認証、開発、管理に携わる方々にとり必読です。

- 対象機関・地域: IEC 等国際機関、ならびに、FCC、UL を含む米国、EU、CENELEC、CEN を含む欧州、その他オセアニア及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: 上記の対象機関・地域のウェブサイトもしくは情報サービス。また、ご協力の同意をいただいた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの、当該分野の識者の方から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで ishii-keisuke@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、46 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記ウェブサイトの運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可をいただいております。翻訳転載された記事の著作権は原著者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the website information from the above listed organizations with each organization's conditions. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全(Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2026-03-01(No. 183)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一 編集担当: 山中慎一

© 2025 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。